

電気安全の基礎

2022年6月22日

電子技術グループ 新井宏章

1. 安全とは
2. リスクアセスメント（電氣的危険源）
3. タイの労働災害と電圧事情
4. 感電の危害
5. 火災の危害
6. どこが危険か
7. まとめ

安全性の主語は「人が」である。
リスクを許容するか否かは、人・社会が判断する

「許容不可能なリスクがないこと」

(ISO/IEC Guide51:2014, Safety aspects-Guidelines for their inclusion in standards)

リスク：危害の発生確率とその危害の度合いとの組合せ



「安全」の考えはリスクを経由して定義される。

➔ 安全にするには、許容可能なレベルまでリスクを低減させるしかない。

※許容可能なレベルは継続的な見直しが必要

安全の大前提

- 1 機械は故障する
- 2 人は間違える
- 3 ルール・マニュアルに完全なものはない
- 4 絶対安全（リスクゼロ）は存在しない

続きは作成中

セミナー当日は、日本語の資料のみです。タイ語はありません。